

ミニディスクロージャー誌
平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日

第98期 営業の中間ご報告





いちばんに、あなたのこと。

ごあいさつ

皆さまには、日頃より、当行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

ここに、第98期中間期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の営業の概況と中間決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。当行をよりご理解いただくための参考にしていただければ、幸いに存じます。

さて、わが国の経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響が見られるものの、企業部門において、収益が過去最高水準まで増加していることなどを背景に、前向きな設備投資スタンスが維持されていることに加え、家計部門においても、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、個人消費が底堅く推移し、住宅投資も持ち直し、緩やかな回復を続けております。

当行の主要な営業基盤である大分県では、4月の大分駅ビルの開業や大分県立美術館の開館、7月から9月に実施されたおんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン等魅力ある施設の開業やイベントが相次ぎ、その結果、個人消費や雇用情勢に改善の動きがみられました。その一方で、平成27年度の企業収益は減益が見込まれるなど一部では厳しい状況も続いております。

このような経済環境の下、当行では、人口減少、少子高齢化への対応として行政が推進する「地方創生」への取組みに「地方創生推進室」を中心に組織的に対応する一方、地域経済の活力向上と発展に貢献していくため、地域の中小企業等や個人のお客さまに対してコンサルティング機能を発揮し、円滑な資金供給と付加価値の高い金融サービスの提供に努めることで、“地域への徹底支援”をこれまで以上に強力に推し進めてまいります。

皆さまにおかれましては、当行に対し、今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取
権藤 淳

平成27年12月



プロフィール・経営理念

プロフィール

(平成27年9月30日現在)

名称	株式会社豊和銀行
創業	昭和24年12月22日
本店所在地	大分市王子中町4番10号
資本金	124億円
店舗数	42か店(大分県39、福岡県2、熊本県1)
従業員数	520名(嘱託、出向、臨時従業員を除く)
預金残高	5,171億円(譲渡性預金を含む)
貸出金残高	4,087億円
有価証券残高	940億円

経営理念

当行の営業基盤である大分県、福岡県、熊本県の経済発展に貢献していくことは、地域の法人・個人のお客さま、国および県市町村の支援を受けている地域金融機関としての当行の責務であると考えております。

以下の経営理念に基づき、地域に真に必要とされる金融機関を目指して、地域経済活性化やCSR等に一層強力に取り組んでまいります。

● Contribution：貢献

わたくしたち 豊和銀行は、地域の発展に貢献します。

● Customers：お客様第一主義

わたくしたち 豊和銀行は、お客様に質の高いサービスを提供します。

● Challenge & Change：挑戦と変革

わたくしたち 豊和銀行は、たゆまぬ挑戦と変革により、未来を切り開きます。

役員

(平成27年9月30日現在)

代表取締役頭取	権 藤 淳
代表取締役専務	高 橋 信 裕
常務取締役	牧 野 郡 二
常務取締役	玉 井 鉄 之
取締役	工 藤 俊二郎
取締役	渡 部 悌 史
取締役	山 口 毅 彦
常勤監査役	佐 藤 俊 明
常勤監査役	安 藤 啓 士
監査役	脇 坂 俊 彦

(注1) 山口毅彦は会社法第2条第15号に規定する社外取締役であります。安藤啓士、脇坂俊彦は、会社法第2条第16号に規定する社外監査役であります。

(注2) 当行は取締役山口毅彦、常勤監査役安藤啓士および監査役脇坂俊彦を福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

Contents

ごあいさつ	表紙裏
プロフィール・経営理念	1
経営強化計画の概要	2
業績ハイライト	3
地域の皆さまとともに	5
中間財務諸表	11
株式についてのご案内	12
店舗・ATM等のご案内	13

経営強化計画の概要（対象期間：平成25年10月～平成28年3月）

平成26年3月に公表した経営強化計画では、「地域密着型金融の徹底による地域経済の活性化、地域への貢献」を基本方針に据え、これを実現するための取組方針として「地域への徹底支援」、「現場力の強化」、「顧客基盤の拡充」、「収益力及び経営基盤の強化」の4つを定めております。

これらの取組方針に基づき諸施策を確実にかつ持続的に実施し、地域経済の活力向上と発展に貢献してまいります。

目指す姿

地域に貢献し、真に必要とされる銀行

経営理念

貢献 Contribution

お客様第一主義 Customers

挑戦と変革 Challenge&Change

基本方針

地域密着型金融の徹底による地域経済の活性化、地域への貢献

コンサルティング機能の発揮

円滑な資金供給

質の高い金融サービスの提供

取組方針

① 地域への徹底支援

・経営改善支援のための新規融資 ・成長・発展のための新規融資

② 現場力の強化

③ 顧客基盤の拡充

④ 収益力及び経営基盤の強化

責任ある経営体制の確立

数値目標の進捗状況

（単位：百万円、%）

	25/3期 実績	25/9期 実績	26/3期 実績	26/9期 実績	27/3期 実績	27/9期（速報値）			28/3期 計画
						計画	実績	計画比	
コア業務純益	2,993	1,613	3,273	1,163	2,557	1,518	1,465	△53	3,385
業務粗利益経費率	53.29	53.21	52.47	54.78	53.06	55.87	52.32	△3.55	53.20

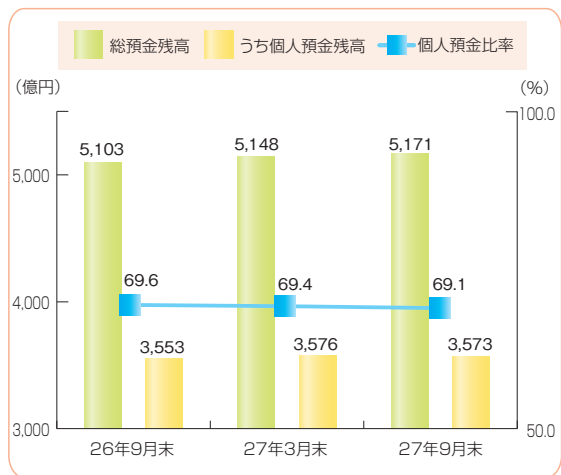
※コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

※業務粗利益経費率＝（経費－機械化関連費用）÷業務粗利益

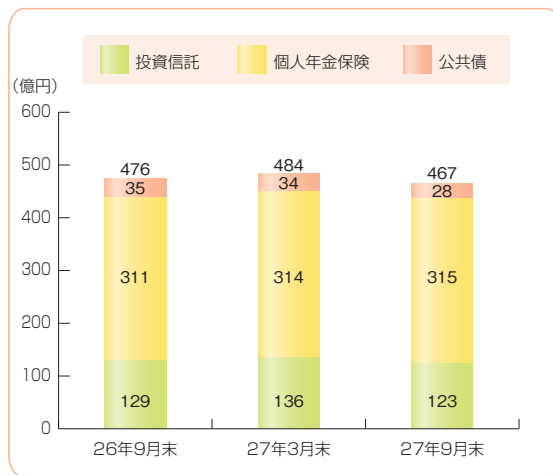
業績ハイライト

❖ 預金・預り資産の状況 (平成27年9月末現在)

● 預金 (譲渡性預金を含む)

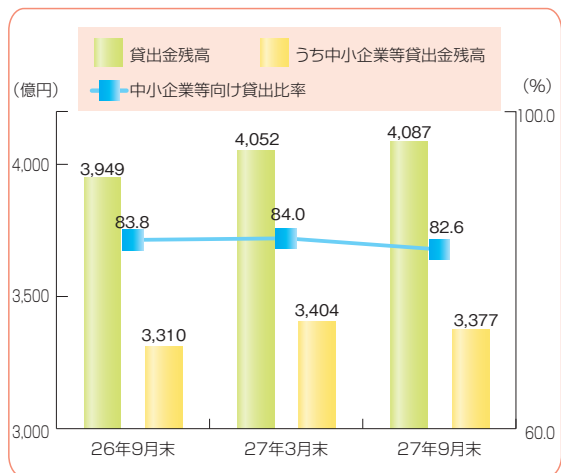


● 預り資産 (投資信託・個人年金保険・公共債)

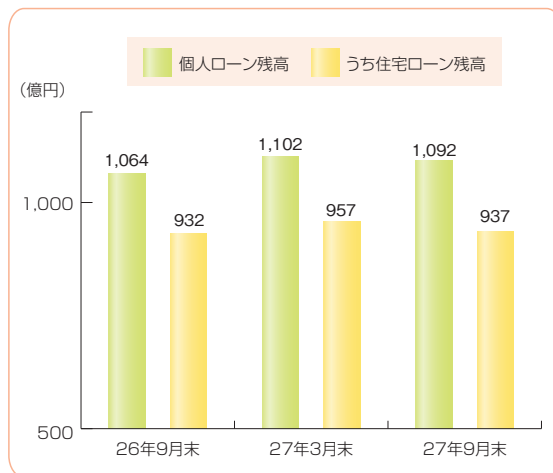


❖ 貸出金の状況 (平成27年9月末現在)

● 貸出金 (中小企業等向け貸出金)



● 個人向け貸出金



業績ハイライト

◆損益の状況

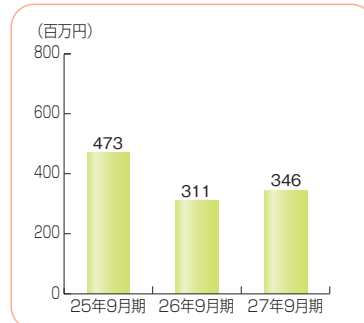
●コア業務純益



●経常利益

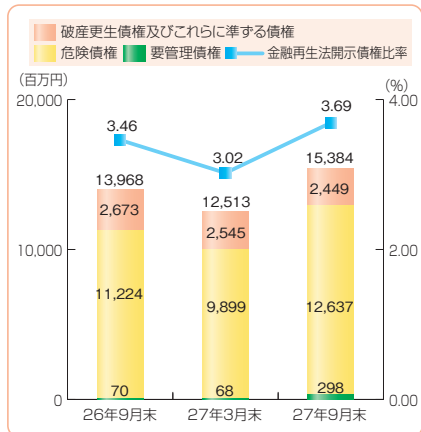


●中間純利益

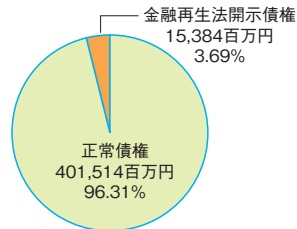


◆不良債権の状況

●金融再生法に基づく開示債権比率



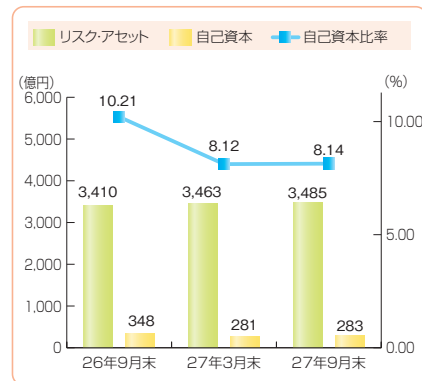
●金融再生法に基づく開示債権の構成比 (平成27年9月末現在)



総与金額 416,899百万円

※部分直接償却を実施しない場合の27年9月末金融再生法開示債権比率は6.71%となります。

◆自己資本比率の状況



※27年3月末は当行が発行した劣後債67億円を早期償還したことに伴い、自己資本比率が26年9月末比2.09ポイント低下しました。

用語説明

・ **自己資本比率**…銀行の健全性を示す指標のひとつで、国内基準と国際統一基準があります。当行は国内基準を適用しております。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本（資本金など）}}{\text{リスク度合いを考慮した資産}}$$

・金融再生法による開示債権の定義

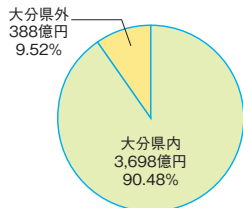
破産更生債権及びこれらに準ずる債権…破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
危険債権…債務者が経営破綻には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約どおりの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権
要管理債権…3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

地域の皆さまとともに

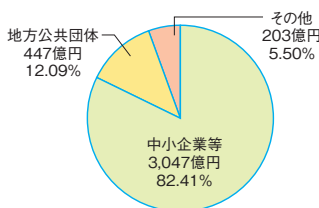
■地域経済の発展に向けた取組み

当行では、皆さまからお預りした大切な預金のほとんどを、大分県内の企業や個人のお客さまへの貸出で運用しております。皆さまからお預かりした預金は地域経済発展の源泉となっています。

●総貸出金に占める大分県内向け貸出金の割合
(平成27年9月末現在)



●大分県内向け貸出金に占める中小企業等貸出金の割合
(平成27年9月末現在)



●業種別貸出金の状況

(単位：百万円)

	平成27年9月末	
	金額	構成比
大分県内向け貸出金合計	369,810	100.00%
製造業	17,519	4.74%
農業・林業	1,245	0.34%
漁業	106	0.03%
鉱業・採石業、砂利採取業	1,176	0.32%
建設業	21,724	5.87%
電気・ガス・熱供給・水道業	11,940	3.23%
情報通信業	3,123	0.84%
運輸業・郵便業	5,605	1.52%
卸売業・小売業	26,193	7.08%
金融業・保険業	20,839	5.63%
不動産業、物品賃貸業	61,306	16.58%
各種サービス業	59,605	16.12%
地方公共団体	44,719	12.09%
個人その他	94,703	25.61%

■地域経済の活性化に向けた取組み

地域経済の活性化に資する方策について、経営強化計画において掲げた数値目標の進捗状況は以下のとおりです。

□中小規模事業者等向け貸出残高、総資産に対する比率

(単位：億円、%)

	25/3末 実績	25/9末 実績	26/3末 実績	26/9末 実績	27/3末 実績	27/9末 (速報値)			28/3末 計画
						計画	実績	計画比	
中小規模事業者等向け貸出残高	2,184	2,107	2,192	2,199	2,261	2,264	2,282	18	2,310
総資産残高	5,400	5,520	5,625	5,668	5,647	5,740	5,633	△107	5,804
総資産に対する比率	40.45	38.17	38.98	38.79	40.04	39.44	40.51	1.07	39.79

※総資産に対する比率＝中小規模事業者等向け貸出残高÷総資産残高

※「中小規模事業者等向け貸出」とは、銀行法施行規則第19条の2第1項第3号ハに規定する別表第一における中小企業等から個人事業者以外の個人を除いた先に対する貸出で、かつ次の貸出を除外しております。

政府出資主要法人向け貸出、及び特殊法人向け貸出、土地開発公社向け貸出、地方住宅供給公社向け貸出、及び地方道路公社向け貸出、大企業が保有する各種債権又は動産・不動産の流動化スキームに係るSPC向け貸出、当行の子会社向け貸出、及び当行を子会社とする銀行持株会社等（その子会社も含む）向け貸出、子会社に大会社を有する親会社向け貸出、その他金融機能強化法の趣旨に反するような貸出

□経営改善支援等取組先企業数、取引先企業総数に占める比率

(単位：先、%)

	25/3末 実績	25/9末 実績	26/3末 実績	26/9末 実績	27/3末 実績	27/9末 (速報値)			28/3末 計画
						計画	実績	計画比	
経営改善支援等取組先企業数	257	225	306	465	444	270	426	156	283
創業・新事業開拓支援	50	53	57	97	108	70	102	32	72
経営相談支援	46	63	75	83	86	63	88	25	68
早期事業再生支援	13	7	13	12	13	12	12	-	13
担保・保証に過度に依存しない融資の促進	146	97	157	272	232	120	218	98	125
事業承継支援	2	5	4	1	5	5	6	1	5
取引先企業総数	5,112	5,056	5,256	5,340	5,404	5,475	5,491	16	5,550
取引先企業総数に占める比率	5.02	4.45	5.82	8.70	8.21	4.93	7.75	2.82	5.09

※取引先企業総数に占める比率＝経営改善支援等取組先企業数÷取引先企業総数

※取引先企業総数は融資残高のある先で、個人ローンだけの取引先を含んでおりません。「創業・新事業開拓支援」、「経営相談支援」、「早期事業再生支援」、「担保・保証に過度に依存しない融資の促進」、「事業承継支援」の先数は、半期分を記載しております。

■地方創生の取組み

□地方創生推進体制

少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的とした「まち・ひと・しごと創生法」が平成26年11月に成立し、同年12月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されたことに伴い、現在、地方創生に向けたさまざまな取組みが全国各地で展開されています。

こうした中、当行では、平成27年4月に「地方創生推進室」を設置し、地方創生推進のための行内体制を整備しました。

□地方自治体との連携

平成27年10月に、宇佐市、大分市それぞれと地方創生を進めるための包括連携協力協定を締結しました。

地方創生の取組みにおいて、地域金融機関は、地域の産業振興や活性化、雇用、住居、子育てなど、幅広い分野で大きな役割を期待されています。

当行は、「地域に貢献し、真に必要とされる銀行」として、各自治体との連携をいっそう強化し、当行の持つノウハウを最大限活用した協力を行ない、地方創生に寄与してまいります。



□大学との連携

大分大学、日本文理大学と連携協力協定を締結し、地元企業の創業・新事業や経営改善の支援、金融教育活動等を通じた地方創生に繋がる取組みを行なっております。

平成27年7月には、子どもたちにお仕事体験を通して将来の夢を発見してもらう、日本文理大学主催のイベント「小学生のお仕事発見ランド in NBU 県央空港キャンパス」において、体験ブースの運営に協力しました。



本部

営業統括部
地方創生推進室

【地方創生推進統括責任者】
営業統括部地方創生推進室長

営業店

【地方創生推進責任者】
地方公共団体と取引がある
営業店長(16か店)
【地方創生推進担当】
その他の営業店長(26か店)

平成27年9月には、「起業家精神（アントレプレナーシップ）教育※」を通じて次代の産業を支える人材を育成することを目的とした大分大学主催の「アントレプレナーシップセミナー for Kids」において、子どもたちに「会社を作ることから、商品の仕入れ、製作、販売、決算まで」という経済の流れを疑似体験してもらうプログラムを実施しました。

このほか、企業の新製品・新技術開発、技術改良等の相談を当行で受け付け、大分大学へ繋げる「産学連携支援サービス」のご提供や、同サービスの一環として大分大学・大分商工会議所と共催する「出張なんでも技術相談会」を継続して行なっております。

※起業家精神（アントレプレナーシップ）教育…子どもが本来持っている起業家精神を刺激し発揮・涵養させるための実体験を通じた教育プログラムのこと。



□創業・新事業支援

創業・新事業を目指すお客さまへ、その実現に必要なマーケティングやマネジメント知識、自治体の各種支援制度・補助金等に関する情報提供や事業計画の策定支援のほか、創業支援融資・ベンチャー支援等に独自のノウハウを持つ日本政策金融公庫（大分支店・別府支店）と協調した創業支援融資等を行っております。

平成27年6月からは、大分県が募集する「大分県金融機関提案型資金」に基づく「ほうわ地方創生支援資金（創業・新事業）」、「ほうわ成長産業支援資金」の取扱いを開始し、充実した支援体制を整備しております。

□販路拡大支援

地方創生の取組みの一環として、地域産業の競争力の強化・地元企業の皆さまの販路拡大の機会をご提供するため、地域密着型の店舗展開に取り組む株式会社セブンーイレブン・ジャパンとのニーズマッチングセミナー（平成27年7、8月）および個別商談会（平成27年10月）を、西日本シティ銀行、長崎銀行との共催で開催しました。

また、平成27年7月には、「地方の食品」を扱う地元企業にスポットを当て、広く地域の食関連産業の育成と発展、地域経済の活性化を後押しすることを目的とした「地方創生『食の魅力』発見商談会2015」を、当行を含む第二地方銀行28行とリッキービジネスソリューション株式会社の共催で、TRC 東京流通センター（東京都大田区）にて開催しました。



□「ほうわ空き家解体ローン」、「ほうわ空き家活用ローン」取扱開始

近年、社会的課題となっている「空き家問題」に対し、当行も各自治体の空き家対策事業の推進をサポートするため、平成27年7月より、「ほうわ空き家解体ローン」、「ほうわ空き家活用ローン」の取扱いを開始しました。

空き家が管理されずに長期間放置されてしまうと、建物の老朽化が進み、倒壊の危険性や治安の悪化、放火の誘発や不審者の侵入、害獣・害虫の発生などさまざまな問題を引き起こします。

本商品は、老朽化した空き家の取り壊しや、空き家を活用するための改築・改装、空き家の防災設備の設置等をご検討のお客さまにご利用いただける商品です。

商品の詳細につきましては、当行本支店にお問い合わせいただくか、当行ホームページをご覧ください。



□ファンドの創設

平成27年4月に、全国屈指の源泉と自然豊かな食を有し、観光資源豊富な大分県の発展を後押しするため、旅館・ホテル等の新築・改修資金や観光産業にかかる新規事業資金等の「ツーリズム振興資金」を対象とした「おおいたツーリズムファンド」を創設しました。

■CSR 活動

□「夏休み親子スクール」開催

平成27年8月に、大分県内の小学生とその保護者16組37名の参加のもと、大分県金融広報委員会との共催で「夏休み親子スクール」を開催しました。

本スクールでは、子どもたちに健全な金銭感覚を身に付けてもらうとともに、生活に身近なお金の役割や大切さなどについて、理解・関心を深めてもらうことを目的に、楽しみながら学べるさまざまなプログラムを設けました。

「一億円（模型）を持ってみよう！」体験では、本物の一億円と同じ大きさ・重さ（10kg）に作られた模型を、子どもたちが張り切って抱え、笑顔を見せていました。

名刺交換体験では、当行員がお手本を披露した後、子どもたちが自分の名前が入った名刺の交換にチャレンジしました。最初は恥ずかしそうな様子でしたが、慣れてくるとお互い積極的に声をかけ合い、上手に交換することができました。



「銀行の内部をのぞいてみよう」体験では、当行本店営業部の貸金庫や窓口のほか、頭取室も見学し、頭取の席に座って頭取と一緒に記念撮影を行ないました。

最後に行なった「お買い物ビンゴゲーム」では、ビンゴが回るたびに子どもたちの歓声上がり、ゲームを通して、日常生活でのお金のやりくりやお小遣い帳のつけ方について学びました。



□「第8回 NPO 助成金制度」助成金贈呈

地域で活動しているNPOやボランティア団体への助成金を通じて、大分県の環境保全、文化振興、福祉・生活向上にお役立ていただき、「ゆたか」な社会を築く一助とすることを目的として、平成20年度より、NPO助成金制度を実施しております。

今回は、県内11団体よりご応募を頂戴し、厳正な選考の結果、地道な社会活動や地元の伝統文化、地域の自然環境等の特色を生かした取組みをされている団体として4団体を助成対象に決定しました。

平成27年9月、当行本店において、助成金の贈呈式を行ないました。

【第8回 NPO 助成金制度助成団体】

助成団体名	所在地	対象事業
おおいた子ども支援ネット	大分市	放課後等デイサービス
佐伯喜の会	佐伯市	地域伝統文化継承活動
キッズスポッチャ	日出町	障がいのある子どもたちのスポーツ活動支援
Cherim boat	大分市	障がいのある子どもたちのスポーツ機会増大



□「^ふないばっちゃん ^{えいし}第31回府内戦紙」参加

平成27年8月に開催された「第31回府内戦紙」に参加しました。

当行は「^{えいし}英姿颯爽～輝く未来へ！しらしんけん。～」をテーマに、総勢約160名が、勇ましく、颯爽と、心ひとつに“前へ、前へ”と突き進む踊りと山車を披露し、祭りを大いに盛り上げました。



□ インターンシップ開催

当行では、銀行の仕事内容を知り、体験していただくインターンシップを開催しております。

平成26年9月から平成27年2月にかけては4回開催し、33名の大学生・短大生にご参加いただきました。

インターンシップでは、銀行業務の基礎知識や地方銀行の役割等について解説するほか、社会人として必要なビジネスマナーを学んだり、実際の職場の雰囲気を体感したり、先輩行員と仕事や就職活動等についてざっくばらんに話したりする時間を設けており、今後の進路の検討に役立つ経験ができるプログラムです。

インターンシップ開催予定につきましては、就職サイト等にてお知らせしますので、お気軽にご参加ください。



■ トピックス

□ 「LINE@」アカウント開設

平成27年8月に、スマートフォンアプリ「LINE」の公開型アカウント「LINE@」のアカウントを開設しました。

お友だち登録していただいたお客さまには、キャンペーン情報や便利なサービス等をタイムリーに配信しております。



□ 佐伯支店移転

このたび当行佐伯支店は移転しました。

車いすご使用者用駐車施設や車いすでご利用可能な多目的トイレ、段差を解消したスロープ、点字ブロック、視覚障がい者対応ATM、AED（自動体外式除細動器）を設置し、さまざまなお客さまに安心してご利用いただけるようユニバーサルデザインを取り入れた店舗です。

新店舗でお待ちしております！

移転する営業店の名称	豊和銀行佐伯支店
新店舗での営業開始日	平成27年11月24日（火）
移転後の所在地	〒876-0856 大分県佐伯市 中村北町10番20号



中間財務諸表

■中間貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	55,538	預金	512,363
有価証券	94,059	譲渡性預金	4,791
貸出金	408,705	借入金	14,281
外国為替	395	その他負債	2,277
その他資産	1,292	賞与引当金	148
有形固定資産	8,090	睡眠預金払戻損失引当金	97
無形固定資産	156	再評価に係る繰延税金負債	919
前払年金費用	485	支払承諾	881
繰延税金資産	922	負債の部合計	535,759
支払承諾見返	881	(純資産の部)	
貸倒引当金	△7,202	資本金	12,495
		資本剰余金	8,350
		資本準備金	8,350
		利益剰余金	4,697
		利益準備金	515
		その他利益剰余金	4,181
		繰越利益剰余金	4,181
		自己株式	△87
		株主資本合計	25,456
		その他有価証券評価差額金	336
		土地再評価差額金	1,771
		評価・換算差額等合計	2,108
		純資産の部合計	27,565
資産の部合計	563,325	負債及び純資産の部合計	563,325

■中間損益計算書

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	5,844
資金運用収益	4,431
（うち貸出金利息）	(3,964)
（うち有価証券利息配当金）	(448)
役員取引等収益	678
その他業務収益	394
その他経常収益	339
経常費用	5,269
資金調達費用	273
（うち預金利息）	(263)
（うち譲渡性預金利息）	(1)
役員取引等費用	555
その他業務費用	10
営業経費	2,930
その他経常費用	1,498
経常利益	575
特別利益	0
特別損失	6
税引前中間純利益	568
法人税、住民税及び事業税	119
法人税等調整額	102
法人税等合計	221
中間純利益	346



株式についてのご案内

株式事務のご案内

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲1丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区八重洲1丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

単元株式数

1,000株

公告方法

電子公告により当行ホームページ(<http://www.howabank.co.jp/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告ができない場合には、日本経済新聞及び大分市において発行する大分合同新聞に掲載して行います。

〈郵便物送付先・お問い合わせ先〉

郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324

（ご注意）

証券会社等をご利用の場合は、住所変更や買取請求等は引き続きご利用の証券会社等へご連絡願います。未払配当金については、上記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

単元未満株式の買増制度のご案内

当行は、単元未満株式ご所有の皆さまのご便宜をはかるため、「単元未満株式の買増制度」を実施しております。単元未満株式をご所有の株主さまにおかれましては、次の制度概要をご参照のうえ、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

1. 単元未満株式の買増制度

当行の単元株式数（1,000株）に満たない株式をご所有の株主さまは、お手元の単元未満株式と併せて単元株式数になる数の株式を買い増すことができます。

2. 買増請求の方法

（1）証券会社をご利用の場合

証券会社をご利用の場合には、取引のある証券会社へお申出ください。

（2）特別口座をご利用の場合

みずほ信託銀行（フリーダイヤル0120-288-324）へお問い合わせください。

3. 買増請求の受付停止期間

毎年3月31日から起算して10営業日前から3月31日までの間、及び9月30日から起算して10営業日前から9月30日までの間は、買増請求の取扱いを停止します。また、買増請求された株式数が、当行の保有する自己株式数を超えるに至ったときは受付を停止いたします。

4. その他

単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたします。

証券会社等をご利用の場合も、単元未満株式の買取・買増請求の取扱停止期間が設けられます。

店舗・ATM等のご案内 (平成27年11月30日現在)

店舗内・店舗外 ATM：●土曜日の稼働店 ●土曜・日曜・祝日の稼働店 ★通帳繰越機能付

※下線は、視覚障がい者対応 ATM (ハンドセット方式) 設置店舗

※通帳繰越機能付 ATM で繰越可能な通帳は、普通預金通帳 (シルバー) および総合口座通帳 (ゴールド) のみです。

■ 店舗

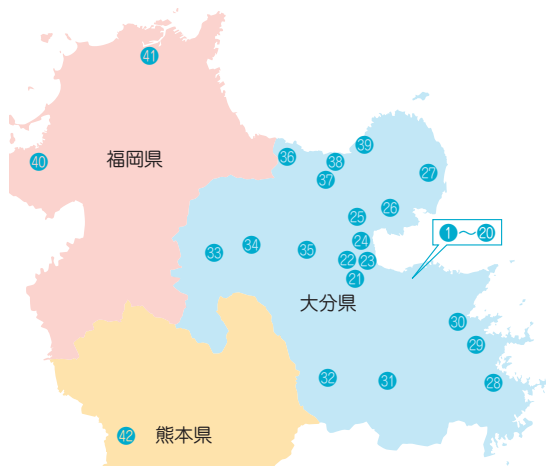
大分市	1 本店営業部	097(534)2612	●★
	2 県庁前支店	097(532)9155	●★
	3 上野支店	097(545)0088	●
	4 古国府支店	097(545)7511	●★
	5 大道支店	097(545)1101	●★
	6 南大分支店	097(543)6116	●★
	7 寒田支店	097(569)1811	●★
	8 戸次支店	097(597)6288	●★
	9 宗方支店	097(541)5211	●★
	10 わさだ支店	097(586)1771	●★
	11 富士見が丘支店	097(541)4343	●★
	12 光吉支店	097(568)2460	●★
	13 簗来支店	097(549)2441	●★
	14 東支店	097(558)2121	●★
	15 明野支店	097(558)6366	●★
	16 牧支店	097(552)1137	●★
	17 下郡支店	097(567)2233	●★
	18 鶴崎支店	097(527)3181	●★
	19 鶴崎南支店	097(522)3040	●★
	20 大在支店	097(593)1655	●★
別府市	21 別府支店	0977(23)4361	●★
	22 新別府支店	0977(22)1221	●★
	23 石垣支店	0977(25)5311	●★
	24 亀川支店	0977(66)1151	●★
築日・出・東杵	25 日出支店	0977(72)2821	●★
	26 杵築支店	0978(62)3040	●★
大分県南部	27 国東支店	0978(72)1221	●★
	28 佐伯支店	0972(22)1920	●★
	29 津久見支店	0972(82)3101	●★
	30 臼杵支店	0972(62)3171	●★
	31 三重支店	0974(22)7111	●★
西大分県	32 竹田支店	0974(63)2125	●★
	33 日田支店	0973(22)5121	●★
	34 玖珠支店	0973(72)6655	●★
大分県北部	35 湯布院支店	0977(28)8171	●★
	36 中津支店	0979(23)3223	●★
	37 宇佐支店	0978(32)3311	●★
	38 長洲支店	0978(38)1136	●★
熊福本岡	39 高田支店	0978(22)2680	●
	40 福岡支店	092(291)0831	●★
熊本	41 北九州支店	093(931)8841	●★
	42 熊本支店	096(366)7101	●★

■ ほうわホルトホールプラザ

大分市	ほうわホルトホールプラザ	097(546)5777	●★
-----	--------------	--------------	----

■ ATM

大分市	マルシヨク東大道店	●
	ソフィアプラザ	●
	トキハ会館	●
	大分市役所	●
	大分県庁	●
	大分フォーラス	●
	JR大分駅	●
	寒田支店敷戸出張所	●
	トキハインダストリー南大分センター	●
	大分県立病院	●
別府市	イオン光吉店	●
	トキハわさだタウン	●
	大在支店佐賀園出張所	●
	パークプレイス大分	●
	イオン高城店	●
	トキハインダストリー明野センター	●
	コープふらいる	●
	日本文理大学	●
	大分医療センター	●
	アムス大在店	●
由布市	イオン狭間ショッピングセンター	●
別府市	ゆめタウン別府	●
	B-Passage	●
	トキハ別府店	●
	別府市役所	●
	トキハインダストリー鶴見園店	●
	新別府病院	●
	マルシヨク大学通り店	●
	スギノイバレス	●
	清部学園	●
	国東支店安岐出張所	●
南大分県	サンリブ杵築店	●
	大分空港ターミナルビル	●
	トキハインダストリー佐伯店	●
北大分県	マルシヨク津久見店	●
	サンリブ竹田店	●
	イオン三光ショッピングセンター	●
福岡県	ハイパーモールメルクス宇佐	●
	マックスパリュ豊後高田店	●
中津支店豊前出張所	●	



● ゆうちょ銀行 ATM・コンビニ ATM

全国のゆうちょ銀行 ATM、ローソン ATM、セブン銀行 ATM をご利用いただけます。



ゆうちょ銀行



ATM



※ほうわサンクスサービス「ファーストステージ」「セカンドステージ」のお客さまは、ご利用手数料が無料です。

上記以外のお客さまは所定の手数料が必要となります。
 ※ローソンには、他の金融機関が個別に ATM を設置している場合があり、サービス内容 (ほうわサンクスサービス対象外)、ご利用時間、手数料等が異なります。詳細はご利用店舗の ATM 画面表示等をご確認のうえ、ご利用ください。

● 提携金融機関 ATM

西日本シティ銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、熊本銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行の ATM・CD からのお引出しが手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用いただける時間 平日8:45~18:00

※上記時間以外のご利用には時間外手数料、お振込みの場合には所定のお振込手数料が、別途必要となります。

※ご利用時間およびサービス内容は設置場所によって異なります。詳細は営業店窓口へお問合せいただくか、当行ホームページをご覧ください。

豊和銀行の
キャッシュカードは お取引内容に応じて
セブン銀行 ATM ローソン ATM に加え
ゆうちょATMの**無料**に!
ご利用手数料が

ATM手数料0円のお取引条件等は、お近くの営業店窓口またはホームページにてご確認ください。

お問い合わせ

○通帳、届出印、キャッシュカード等の紛失・盗難について

平日 8:30~17:00	各お取引店
上記時間帯以外	ATM 照会センターまたは CD 紛失共同受付センター フリーダイヤル 0120-188-668

○インターネットバンキング、モバイルバンキングについて

平日 9:00~17:00	事務統括部 フリーダイヤル 0120-080-848
---------------	-------------------------------

○各種商品について

平日 9:00~17:00	各お取引店
平日 10:00~19:00 土日祝日10:00~17:00	ほうわホルトホールプラザ 097-546-5777

○ご意見、ご要望等について

平日 9:00~17:00	お客さま相談室 フリーダイヤル 0120-308-329
---------------	---------------------------------

○金融円滑化について

金融円滑化相談窓口(全営業店設置)	平日9:00~15:00
金融円滑化相談専用フリーダイヤル	0120-225-027 平日9:00~17:00
金融円滑化苦情相談専用	0120-135-122 フリーダイヤル 平日9:00~17:00

○当行ホームページ

http://www.howabank.co.jp/
